

長野県ジュニアホッケーリーグ(NJHL)

Nagano Junior Hockey League



まえがき

大会のあり方が育成に大きな影響を与えるといった意味では、リーグ戦は非常に大きな要素となります。現在、長期にわたる、能力別リーグ戦の創出に向けて、各地域で努力しています。それは、1回戦で負けて終わりではなく、選手にとっては長期にわたるモチベーションとなること。指導者にとっては、M-T-Mで、試合で日頃のトレーニングの成果を確認し、その結果を分析してトレーニングを重ねまた次の試合に臨むというサイクルの中で、課題克服にトライし、一つ一つ取り組み積み重ねていくことができるという面があります。それは、選手ばかりでなく、指導者が分析、計画、トレーニングと言ったサイクルを重ねていくことで、指導者自身がスキルアップしていくことにつながります。刹那的な勝利を目指すあまりリスクを避ける闘いになるのではなく、試合のチャンスが続くため、課題の克服に向けリスクにトライしやすくなります。このことは、リーグ戦が推奨される理由の中でも大きい要素です。負けて終わって次の機会が巡ってこない、負けてしまった試合での課題や反省がリセットされてしまい、積み上げていくことがなかなかできない現状もあります。長期にわたるリーグ戦を創出し、定着させていくことが必要です。

もう1点として、能力別という要素が挙げられます。大量得点差の試合から成果や課題を見出すことは難しく、育成の観点からはあまり意味のあるものとは言えません。トップばかりでなく、2部、3部までが含まれる、一つの大きなピラミッドを構築して、拮抗した実力のチーム同士で試合を重ねる環境をつくることで、誰もが実力に応じて充実したアイスホッケーの経験を積む環境が、育成に大きな意味があると考えます。複数チームの参加も含め、登録している全てのチームの全ての選手に、有意義な経験の積める環境をつくることが重要です。リーグ戦はトップの選手を鍛える強化の場だけではなく、全ての選手に同じゲーム数が確保されている普及の場である意義が大きいと言えます。勝ち続けること、負け続けること等さまざまな状況の中で、トレーニングを積んで試合を重ねていくことで、技術・戦術・メンタル面でも力がついていくはずです。

リーグ戦を創出していく上では、物理的にもさまざまな負担、障害があることは確かですが、運営の簡素化やさまざまな工夫により、克服していくことができるはずです。スケジュールの過密がよく指摘されますが、1試合当りの時間短縮や1日の複数の試合確保、現状のトーナメント方式の大会・リーグ戦を効果的に組み合わせること等を検討することで、可能性を探ることができます。年間スケジュールの中でうまく配置することにより、種別の移行の際に大きなブランクができず、連続性を持ってアイスホッケーを行う環境が創出されることが可能となると思います。

コンセプト

- ①拮抗した対戦を増やし、選手・指導者の成長を促す。
- ②長野県アイスホッケー連盟登録選手に、一定数の試合を確保する。
- ③県内指導者を配置し、指導内容を見える化し進学しやすい環境作り
- ④どの年代から始めても、初心者がバックを触り、シュートを打ち、ゴールを入れるアイスホッケーの楽しさを体感する機会とする。
- ⑤長野県内3地域(長野市・岡谷市・軽井沢町)で行う事で選手への遠征費削減…初心者の参加しやすさの実現
- ⑥長野県内リーグ戦を充実し、普及事業とともに魅力ある環境づくりを行う事で県外流出を防ぎ、国体等の県選抜選手の育成、強化・長野県に在籍しながらの世界大会等への派遣選手の育成、強化

カテゴリーについてはランキングではなく、スキル・レベルに合わせてカテゴリー分けを行い、選手1人1人の適正に合った試合を数多く行う事で県内レベルの底上げとアイスホッケーの楽しさを体感してもらう。

1.事業名 NJHL 【Nagano Junior Hockey League】

2028年ながの国民体育大会(本国体・冬季国体同時開催【完全国体】)に向けての
長野県内選手の強化事業※本事業は国体強化事業費の助成を受けて開催されます
県内ジュニア選手が1人でも多く長野県代表として国体での活躍を期待する強化費です。

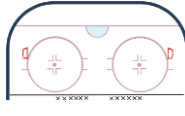
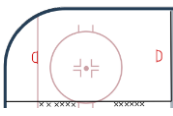
2.主催 長野県アイスホッケー連盟

3.会場
長野市：エムウェーブ
岡谷市：やまびこスケートの森 アイスアリーナ
軽井沢町：軽井沢風越公園アリーナ

4.開催期間 2022年6月～2022年11月

5.カテゴリー Sリーグ・〔B〕 バンタムリーグ・〔PW〕 ピーウィーリーグ・〔A〕 アトムリーグ・〔C〕 チャレンジリーグ

6.リーグ規定

カテゴリー	S	バンタム〔B〕	ピーウィー〔PW〕	アトム〔A〕	チャレンジ〔C〕
リンク	フルアイス 			1/4 	1/6 
チーム数	県内2チーム+中日IHC			県内2チーム	県内2チーム
参加選手 〔基準〕	U15～〔中3年～中2年〕	U13～〔中1年～小6年〕	U11～〔小5年～小4年〕	U9～〔小3年～小2年〕	U7～〔小1年～未就学時&初心者〕
ゴール&バック	通常サイズ・黒			特設ゴール・青	特設ゴール・青
試合数	9試合 (1チーム6試合)			9試合 (1チーム9試合)	9試合 (1チーム9試合)
練習時間	5分			なし	なし
試合時間	1P20分-INT5分-2P20分 (正味)			1P12分-INT1分-2P12分 (ロス)	1P12分-INT1分-2P12分 (ロス)
選手人数・交代	—			4対4 90秒毎	3対3 90秒毎
ペナルティ	マイナーペナルティ2分			PS	PS
ボディチェック	可	※可	不可	不可	不可
アイシング	チェンジ不可	チェンジ不可	チェンジ可	—	—
オフィシャル	ON	2審制	2審制	2審制	1審制
	OFF	7人	5人	5人	2人
スコアシート	あり	なし	なし	なし	なし

- ・ 前半(1P)・後半(2P)の2ピリオド制とする。
 - ・ ボディチェックについて
Sリーグ：女子選手へのチェックを禁止とする。※レフェリーへ女子選手の背番号をお伝え致します。
バンタムリーグ：ボディチェックへの準備カテゴリーとして進行方向が同じ
(フォアチェックなどでアングリングしたなど)の場合はボディチェック可とし、
対面でのボディチェックは不可とする。
 - ・ スコアシート
スコアシートはSリーグのみ作成、但し個人記録(G・A)についてはすべてのカテゴリーで記録する
 - ・ 勝ち点
勝チームに勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。
勝ち点にて順位を決定する。勝ち点が同じの場合は得失点差→総得点で順位を決める。
1試合における得失点差の最大は6点差とし、それ以上については記録しない。(個人記録も同様)
- スポーツ保険
- ・ 参加選手は必ずスポーツ保険に加入してください。

8.参加費	S・バンタム・ピーウィー・アトムリーグ	¥15,000
	チャレンジ リーグ	¥10,000

9.参加申込フォーム

<https://www.icehockey-nagano.jp/njhl-entry/>

申込ORコード



NJHLへ参加される方は上記申込フォームよりお申し込み下さい。
申し込みされる前にフォーム内にある同意書を必ずご一読いただき、
参加される場合は同意の上お申し込み下さい。

10.振込先

八十二銀行 御代田支店

普通 388281

長ア連ジュニア委員会(ナカアレンジュニアインカイ)

振込期日 カテゴリー振分決定後、連絡致します。

※入金時は、選手名にてお振込みお願い致します。

※入金はカテゴリー振分が決まってからの入金をお願いいたします。

11.NJHL専用ホームページ

<https://www.icehockey-nagano.jp/njhl/>

要項・日程・チーム分けについてはこちらをご確認下さい。 ※更新中

12.出欠及び連絡フォーム

<https://www.icehockey-nagano.jp/njhl-inquiry/>

連絡QRコード



試合・練習日に欠席される方は上記の連絡メールフォーム(NJHL専用HP内)より

【氏名・メールアドレス・所属リーグ・連絡内容・欠席日】を入力し送付頂ければ
担当指導者へ送付されます。

またNJHLについての質問等が御座いましたら同じく連絡メールフォームよりご連絡いただければ
実行係より返信致します。

13.試合・練習会の開催について

緊急事態宣言(長野県・愛知県)等、開催に困難な場合、中止及び延期と致します。